

「令和 7 年度 新潟県の農林水産業」(案) に対する委員ご意見と対応

No	項目	委員の意見	対応 (案)	ページ
1	農林水産業を取り巻く情勢 1 県内の動き	【高野委員 (全農にいがた)】 「3 億円台」は「3,000 億円台」ではないか。	ご指摘のとおり修正しました。	P. 3
2	第 1-2-(1) 経営基盤の強化 に資する生産基盤の整備	【高野委員 (全農にいがた)】 「ハード・ソフトの両面からパッケージで支援した」の支援内容について、もう少し詳しく記載する。 ソフト面の支援は、後段記載の「研修会の開催」や「営農経費等の支援」で読み取れるが、ハード面の支援の記載がないため。	本箇所における「ハード面」は、暗渠排水の導入等による汎用化水田の整備等のほ場整備を指しています。 これに合わせ、本文を修正しました。	P. 35 (3) ア
3	第 1-3-(1) 農業・農村の維持 発展	【青山委員 (食料農業大学)】 中山間直払い制度の記述関連 第 5 期と比較し、第 6 期の 1 年目の取り組み面積がかなり減少する見込みとあるが考えられる要因を記載していただければと思う。 要因としてどんなことがあるのか。加筆いただくと読み手としてはわかりやすいと感じる。	ご協定参加者の高齢化により、対策の切り替えのタイミングで解散・統合を選択した協定が一定数あったことから、本文に「協定参加者の高齢化に伴う協定の解散・統合を背景に、」を追加しました。	P48
4	第 2-1 日本の食を支える生産性の高い県産穀物の安定生産・供給	【高野委員 (全農にいがた)】 「(麦 R6 : 215ha→R7 : 226ha)」の記載位置を変更した方が良い。 文章の流れでは、「近年、生産者と・・・作付面積が年々拡大している。」の後にくるのではないか	R5 の面積も追加した上で、ご指摘のとおり修正しました。	P. 57 1 (1) イ
5	第 2-1 日本の食を支える生産性の高い県産穀物の安定生産・供給	【高野委員 (全農にいがた)】 作況単収指数の説明が必要と思う (作況指数との違いなど)。	ご指摘のとおり追記しました。	P. 58
6	第 2-1 日本の食を支える生産性の高い県産穀物の安定生産・供給	【高野委員 (全農にいがた)】 「本県の米産出額の全国シェアは 8.1%と前年並みになったのは、全国の作況が 101 の「平年並」であったものの、本県は 98 の「やや不良」となったことによるものと考えられる。」とあるが、本県の作況が悪かったので全国シェアが下がった (▲0.2%) という解釈理解ではないか。	趣旨についてはご指摘のとおりなので、「前年並みになったのは」を「前年を下回ったのは」と修正しました。	P. 59

No	項目	委員の意見	対応（案）	ページ
7	第 2-1 日本の食を支える生産性の高い県産穀物の安定生産・供給（トピックス）	【高野委員（全農にいがた）】 「随意契約による備蓄米の販売が概ね終了した9月以降・・・」とあるが、9月で終了していないのではないか。	御指摘を踏まえ修正しました。 （「随意契約による備蓄米の販売が概ね終了した」を削除）	P. 61 1（2）
8	第 2-1 日本の食を支える生産性の高い県産穀物の安定生産・供給（トピックス）	【高野委員（全農にいがた）】 一般競争入札の備蓄米だけでなく、随意契約備蓄米も潤沢に流通していた。 （むしろ随意契約備蓄米の過剰放出の影響が大きい）	御指摘を踏まえ修正しました。 （「一般競争入札による備蓄米」を「放出された備蓄米」に修正）	P. 62
9	第 2-1 日本の食を支える生産性の高い県産穀物の安定生産・供給（トピックス）	【高野委員（全農にいがた）】 需要に応じた生産に取り組む目的や意義をもっと記入すべきではないか。 （県内事業者が非主食用米を求めている視点だけではない）	御指摘を踏まえ修正しました。 （国内の消費者の需要に応えるという表現を追加）	P. 62
10	第 2-2 消費者ニーズに的確に対応し持続的に発展する園芸産地の育成	【早川委員（新潟中央青果）】 ・後継者育成、産地継続の件 長岡中之島大口れんこん産地の例を追記してはどうか。 ・県、市、JA、生産組合、農業普及センターが連携して支援 ・研修 複数農家で体験 （2ヶ月程度） 通勤可能な住居の支援 ・補助金 県、市より ・JA、農業普及センター、生産組合からは随時新規就農者へのアドバイスをして確実に営農を続けやすい環境を整える。 ・夏場、冬場の労働条件の厳しさも伝達して新規生産者を育成していく。	ご意見を踏まえ、トピックス（P68）を追加し、大口れんこん産地の事例を含めた、産地の担い手受入体制整備の取組事例を記載しました。	P63-64

No	項目	委員の意見	対応（案）	ページ
11	第 2-2 消費者ニーズに的確に対応し持続的に発展する園芸産地の育成	【高野委員（全農にいがた）】 【産出額】と【主な品目の出荷量】の表にR 7年の実績を記載する。文章にはR 7年の記載があるため。農水省「生産農業所得統計」の資料引用が間に合わないのであれば、その旨を注釈に記載した方が良い。	【産出額】と【主な品目の出荷量】については、農林水産省作物統計調査が令和6年の数値が最新の公表値であり、令和7年の実績は記載できない状況です。 データが最新であることがわかるよう、(1)の項目に根拠資料の公表日を追記します。また、販売額の文章については、(2)の項目に全農取扱及び地域園芸振興プランの令和7年実績に基づくものである旨記載し、区別できるようにしました。	P. 63 1 (1)
12	第 2-2 消費者ニーズに的確に対応し持続的に発展する園芸産地の育成	【高野委員（全農にいがた）】 「かき」についての表記で、「ひょう害」は削除してよい。令和7年度においてかきはひょう害の影響を受けていないと思われるため。	委員ご指摘のとおり、かきの「ひょう害」については一部で被害があったものの、作柄に対する大きな要因ではないことより、表記を削除しました。	P. 63 1 (2) イ
13	第 2-2 消費者ニーズに的確に対応し持続的に発展する園芸産地の育成	【高野委員（全農にいがた）】 「花き」の球根記載箇所について、「球根の入荷遅れによる出荷時期の後倒し」の表現を入れる。生産量、販売額減少に関連している内容は説明した方が良く思うため。	ご意見を踏まえ、チューリップ切り花の出荷量減少の要因に球根の入荷遅れによる出荷時期の遅延について追記しました。	P. 64 ウ
14	第 2-2 消費者ニーズに的確に対応し持続的に発展する園芸産地の育成	【高野委員（全農にいがた）】 中段の図表（主な品目の販売状況）に記載のある越後姫は削除する。（もしくは前段で越後姫の説明を記載する） 前段で記載のない越後姫を記載する理由が分かりにくいため。	ご意見を踏まえ、1 (2)ア 野菜の項目内に越後姫の説明を追記しました。	P. 64
15	第 2-2 消費者ニーズに的確に対応し持続的に発展する園芸産地の育成	【高野委員（全農にいがた）】 新潟県園芸振興大会の写真が、 ① 小さい ⇒大きい方が良い ② わかりづらい ⇒違う角度からの写真を使用 (例：参加者が大勢映っている写真) 現状の写真では開催した規模感が伝わらないと思われるため。 (一大イベントであるということをもっと伝えた方が良い)	ご意見を踏まえ、写真のサイズを拡大するとともに、参加者が写っている写真に変更しました。	P. 65

No	項目	委員の意見	対応（案）	ページ
16	第 2-2 消費者ニーズに的確に対応し持続的に発展する園芸産地の育成	【高野委員（全農にいがた）】 「産地再編・整備」に「JAえちご上越のえだまめ」について記載があるが、他産地も記載する。 固有の産地を出すのは唐突感があるため。（えちご上越だけ記載している理由が分かりにくい）	ご意見を踏まえ、JA 魚沼のねぎ産地の取組について追記し、「JAえちご上越の～について」を「JA えちご上越の～では」に表現を修正しました。	P. 65 (2)イ
17	第 2-2 消費者ニーズに的確に対応し持続的に発展する園芸産地の育成	【高野委員（全農にいがた）】 「情報発信の取組」にフォロワー数や投稿数を入れる。 評価指標として分かりやすいため。	ご意見を踏まえ、令和8年3月末現在のフォロワー数と投稿数を追記しました。	P. 65 エ
18	第 2-2 消費者ニーズに的確に対応し持続的に発展する園芸産地の育成	【高野委員（全農にいがた）】 知事による県産チューリップのトップセールスの写真が、 ① 小さい ⇒大きい方が良い ② わかりづらい ⇒もっとアップの写真を使用 (例：知事が大きく映っている写真、知事がPRしている写真) 現状の写真ではイベントの重要性および規模感が伝わらないと思うため。	ご意見を踏まえ、写真のサイズを拡大するとともに、知事が大きく写っている写真に変更しました。	P. 66
19	第 2-2 消費者ニーズに的確に対応し持続的に発展する園芸産地の育成	【高野委員（全農にいがた）】 「○ 園芸産地発展ビジョンの課題を検証すると、多くの産地で担い手の確保に課題を抱えており、・・・」の部分について、具体的な課題を記載した方が良い。新規参入者の住居問題や研修期間の収入問題などを記載した方が良い。	ご意見を踏まえ、産地が抱える担い手確保の具体的な課題例を追記しました。	P. 67 3
20	第 2-2 消費者ニーズに的確に対応し持続的に発展する園芸産地の育成	【高野委員（全農にいがた）】 「○ 園芸販売額1億円を超える経営体の育成は、・・・」の部分について、販売額だけが若者が魅力を感じる部分と定義しているように見える。職場環境や休暇など福利厚生も魅力を感じる重要なポイントであることも追記した方が良い。	ご意見を踏まえ、販売額1億円を超える経営体の魅力ポイントを記載するとともに、産地で果たす役割等について追記しました。	P. 67 3

No	項目	委員の意見	対応（案）	ページ
21	第 2-2 消費者ニーズに的確に対応し持続的に発展する園芸産地の育成（トピックス）	【高野委員（全農にいがた）】 「QRコード決裁」→「決済」漢字の誤り。	ご指摘部分を修正しました。	P. 68
22	第 3-3 安全・安心なきのこ生産体制の強化	【高野委員（全農にいがた）】 □囲みの箇所 県産きのこの～ 3産地 生産体制を強化 ↑削除 3産地については、文中で具体名に触れた方が良い。	ご意見を踏まえ、囲み部分を修正しました。本文については、生産者の特定につながる恐れがあることから現記載のとおりとしました。	P. 89
23	第 5-1 県産農林水産物のブランド力の向上	【高野委員（全農にいがた）】 米粉用米は、県内需要者の需要にも応えられていない。 （※意見：米粉用米は、需要に応じた生産を促すための交付金等の支援が不可欠である。）	ご指摘を踏まえ、「米粉の特長や意義について更にPRしていくことが必要」に修正しました。	P. 109
24	第 5-1 県産農林水産物のブランド力の向上（トピックス）	【高野委員（全農にいがた）】 「えだまめ県、新潟。」の取組事項に、JAタウンで県と連携し、「冷凍えだまめ」の販売とアンケート調査を実施したことを追記する。シーズンオフでも新潟産えだまめがあることを認知いただきたいため。	ご指摘を踏まえ、新潟産冷凍えだまめを試験販売したことを追記しました。	P. 113
25	第 5-1 県産農林水産物のブランド力の向上（トピックス）	【高野委員（全農にいがた）】 知事トップセールスの場所の記載 東京大田市場⇒「東京都中央卸売市場大田市場」へ修正する。正式名称ではないため。 「新潟産えだまめ」の表記を、「新潟県産えだまめ」に修正する。 ①1行目 ②5行目 ③8行目 ④11行目 ⑤13行目 ⑥○知事トップセールスの内容の行 ⑦○県内飲食店・量販店等でのキャンペーンの場所の行 ⑧上記⑦の内容の行 ⑨○「新潟えだまめ盛フェス」の開催の内容の行 長岡産、上越産などの新潟産以外のえだまめ産地も複数存在するため。	【反映する】 ご指摘を踏まえ、東京大田市場を「東京都中央卸売市場大田市場」へ修正しました。 【反映しない】 「新潟産えだまめ」は県推進ブランド品目の名称であるため。	P. 113

No	項目	委員の意見	対応（案）	ページ
26	第 5-1 県産農林水産物のブランド力の向上 （トピックス）	【高野委員（全農にいがた）】 「県産チューリップ」が繰り返し記載されている箇所があるため、簡潔に記載した方が良い。（省略しても良いのでは） 簡潔な文章の方が分かりやすいため。	ご指摘を踏まえ、「県産チューリップ」や「県産」を省略して簡潔な文章となるよう修正しました。	P. 116
27	第 5-2 県産農林水産物の輸出拡大	【高野委員（全農にいがた）】 輸出用米は、伸び率ではなく、販売数量で国の順位を示した方が、実態が伝わるのではないかと。	【反映しない】 国別の輸出量も併記した場合、国別の取引単価が推定され、特定の事業者のみが輸出している国等で輸出事業者に不利益が生じる懸念があるため、県の輸出目標として設定している輸出額のみを記載とします。	P. 118
28	第 6 農林水産業を担う人材の確保・育成	【青山委員（食料農業大学）】 新規就農者の増加に関する記述 徐々にではあるが新規就農者数が増えている。増加の要因を記載していただくとうい。 上記と同じ（中山間地域直接支払制度の取組面積減少の要因）。こちらは増加しており明るい材料なので、ぜひ要因分析をしていただきたい。	ご指摘のとおり、増加の要因として、農業法人における雇用意欲の向上や就業環境整備、受入体制づくりの取組推進などを追記しました。	P126